

ナビゲーションシステムについて

現在地の測位について

本機ではGPS、準天頂衛星システム「みちびき」の2衛星を利用して現在地測位を行います。

●GPS(Global Positioning System)

アメリカ国防総省によって運用されている衛星測位システムです。

●準天頂衛星システム「みちびき」

宇宙航空研究開発機構(JAXA)によって打ち上げられた、日本の準天頂衛星システムの初号機です。

※現在、準天頂衛星システムは電波を受信できる時間帯が限られます。

※衛星側の技術的トラブルや運営機関の事情により、精度が落ちたり電波を利用できなくなることがあります。

※本書では特にことわりのない限り、上記衛星を利用する機能や受信する電波を「GPS情報」「GPS衛星電波」など総称して表記しています。

現在地を測位するまでの時間

本機を取り付け後または車のバッテリー交換後、初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15~20分程度かかることがあります。通常は電源を入れてから数分で表示します。

見晴らしの良い場所をしばらく走行し、現在地周辺の地図が表示されていることを確認してください。

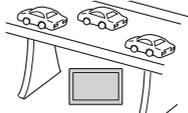
GPSが受信しにくい場所について

次のような場所ではGPS衛星電波が受信しにくくなります。

●トンネルの中



●高速道路の下



●高層ビルなどの間



●樹木の間



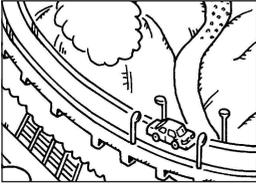
※同じ場所でも、次のような理由でGPS衛星の受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星電波の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の機器(ETC車載器、無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダーなど)の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ受信感が悪化したり受信しなくなることがあるため。

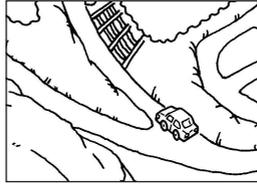
現在地(自車)マークのずれについて

現在地(自車)マークの位置や進行方向は、下記のような走行条件などでずれることがあります。GPS衛星電波をさえぎる障害物がない見晴らしの良い場所を、しばらく走行すると現在地の位置が補正され、正常に使用することができます。

- 直線や緩やかなカーブの長距離走行



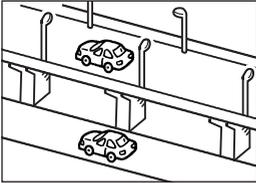
- 緩やかなY字路の走行



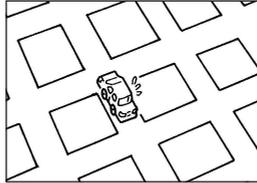
- S字の連続する道路の走行



- 高速道路と一般道路が近くにある場所の走行



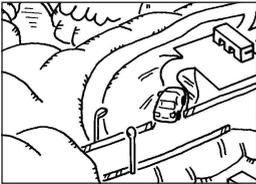
- 碁盤目状の道路や近くに似た形状の道路がある場所の走行



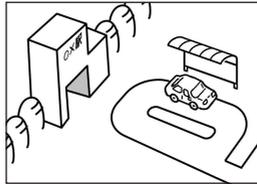
- ループ橋などの走行



- 地図画面に表示されない道路、新設された道路、改修などで形状が変わった道路などの走行



- 駅のロータリーや、道路に隣接する私有地・駐車場に入った場合



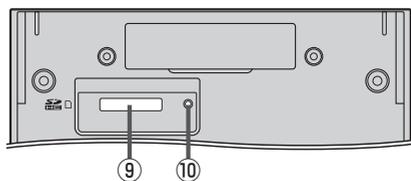
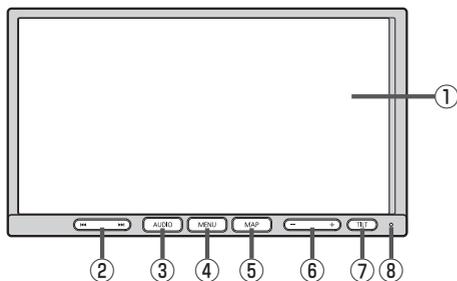
お知らせ

エンジンをかけてすぐ走行した場合も、現在地(自車)マークの向きがずれたり動かないことがあります。

マップマッチングについて

現在地が道路以外(例えば川の中など)になった場合は、マップマッチングで誤差を補正し、近くの道路上に現在地を表示します。

各部のなまえとはたらき



① 液晶ディスプレイ(タッチパネル)

② ボタン

【BLUETOOTH Audio】

- 頭出し
- 早戻し/早送り(長押し)

【ラジオ(FM/AM)】

- 選局
- 自動選局(長押し)

③ **AUDIO** ボタン

AUDIOモードに切り換えます。

④ **MENU** ボタン

メニュー画面を表示します。 P.27

⑤ **MAP** ボタン

現在地の地図画面を表示します。

⑥ ボタン

オーディオの音量を調整します。

※ AUDIO OFF時は操作できません。

⑦ **TILT** ボタン

TILT画面の表示や、ディスプレイを閉じるときに押します。

⑧ **マイク**

ハンズフリー通話時に使用します。 P.111

⑨ SDメモリーカード挿入口

⑩ **リセットボタン**

折れにくい棒状の物などで押すと本機が再起動されます。

本機の電源を入れる／切る

電源を入れる

1 車のエンジンをかける。(ACCをONにする。)

：本機の電源が入ります。

※セキュリティコード入力画面が表示された場合は、セキュリティコードを入力し、

決定 をタッチしてください。 P.130

2 警告画面の注意事項を確認して、**確認** をタッチする。

：現在地の地図画面が表示されます。

※ AUDIOモードの再生画面が表示された場合は、

MAP を押すと、現在地の地図画面が表示されます。

※約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。

警告画面



電源を切る

1 車のエンジンを止める。(ACCをOFFにする。)

: 本機の電源が切れます。

ディスプレイの角度を調整する

1 [TILT] を押す。

: TILT画面が表示されます。

2 [DOWN] または [UP] をタッチする。

※ディスプレイの角度を6段階に調整できます。

ボタン	内容
[DOWN]	傾きが大きくなります。
[UP]	傾きが小さくなります。



お知らせ エンジンを切る(ACCをOFFにする)と、ディスプレイは自動で閉じ収納されますが、次回、エンジンをかける(ACCをONにする)と、前回調整した角度でディスプレイが開きます。

走行中の操作制限について

安全上の配慮から走行中に一部の操作や表示を行うことができません。

走行中に制限される機能

ナビモード	メニュー操作	一部のメニューのみ操作可能
	地図スクロール	短くタッチする操作のみ可能
	道幅3 m未満の細街路表示	道幅3 m未満の細街路を走行中のみ表示可能
AUDIOモード	メニュー操作	一部のメニューのみ操作可能

SDメモリーカードについて

本機では、SDメモリーカードを使用して下記などができます。

- 当社ユーザーコミュニティサイト「ナビcafe」の「おでかけ旅ガイド」からダウンロードした、おでかけスポット・おでかけプランの利用
- 本機で登録している登録地点情報のバックアップ／リストア、エクスポート／インポート
- まっぴるコード(MGコード)更新データの利用

■本機は、SD規格に準拠したSDHCメモリーカード(32 GB以下)*とSDメモリーカード(2 GB以下)に対応しています。それ以外のSDメモリーカードは使用できません。

microSDHCメモリーカード*、miniSD／microSDメモリーカードも使用できます。

*印…SDHCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用できます。

■SDメモリーカードは、パソコンで「SDフォーマッター」(フォーマットソフトウェア)を使って初期化してから使用してください。

SDフォーマッターについては、下記サイトをご覧ください。

http://panasonic.jp/support/sd_w/download/

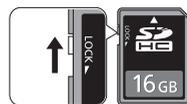
(URLは予告なく変更になる場合があります。)

お知らせ

- 本書では特にことわりのない限り、上記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と総称して表記しています。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

SDメモリーカードの取り扱い

- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードでデータを読み書きしているときに、SDメモリーカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- 長時間使用すると、SDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 次のことをお守りください。
 - ・ 本機から取り出したら、必ずケースに収納する
 - ・ 裏面の端子部を手や金属で触れたり、汚したりしない
 - ・ 貼られているラベルをはがさない
 - ・ シールやラベルを重ねて貼り付けない
 - ・ 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしない



お願い

microSDメモリーカードなどを使用する場合は、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごと取り出してください。

SDメモリーカードを入れる／取り出す

1

TILT を押す。

：TILT画面が表示されます。

2

DISPLAY - OPEN をタッチする。

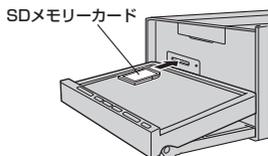
：ディスプレイが開きます。



■ SDメモリーカードを入れる場合

① SDメモリーカードを挿入口に挿入する。

※SDメモリーカードはラベル面を上にして挿入し「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



② **TILT** を押す。

：ディスプレイが閉じます。

■ SDメモリーカードを取り出す場合

① SDメモリーカードを1回押して取り出す。

② **TILT** を押す。

：ディスプレイが閉じます。